



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 及川 雅晴 TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	86,025	△2.1	4,772	△38.8	5,199	△37.0	3,286	△51.2
26年3月期第1四半期	87,866	12.8	7,799	15.0	8,253	14.6	6,729	88.1

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,634百万円 (△73.8%) 26年3月期第1四半期 10,065百万円 (407.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	32.18	—
26年3月期第1四半期	65.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	302,039	73.9	236,495	73.9		
26年3月期	308,787	72.4	236,936	72.4		

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 223,120百万円 26年3月期 223,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	187,000	6.1	13,500	△2.8	14,300	△1.6	9,500	△19.6	93.01
通期	388,000	4.2	31,000	1.3	32,500	0.8	20,500	△9.8	200.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	110,881,044株	26年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	8,745,448株	26年3月期	8,744,689株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	102,136,101株	26年3月期1Q	102,152,701株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動をうけ、景気の回復基調に弱い動きが見られました。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は86,025百万円（前年同四半期比2.1%減）、営業利益は4,772百万円（前年同四半期比38.8%減）、経常利益は5,199百万円（前年同四半期比37.0%減）、四半期純利益は3,286百万円（前年同四半期比51.2%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、101.35円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、98.58円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、海外主要水産物の漁獲不振により原材料価格が上昇したこと、また国内においてもイカ・サバ等の大衆魚の漁獲不振もあり、昨年に引き続き厳しい環境が続きました。このような状況の中、得意商材の鮭鱒、魚卵、マグロ等を中心に付加価値商品の開発を行い、量販店・コンビニ等に積極的な販売を行った結果、売上高は8,415百万円（前年同四半期比3.3%増）となりましたが、鮭鱒、海老、南方魚等の原料価格上昇分を製品価格に転嫁できなかったこと、前浜事業の不振を受け減価償却費の増加を補えなかったこと等により、セグメント損失は25百万円（前年同四半期はセグメント利益17百万円）となりました。

海外即席麺事業は、中米・南米では好調に推移し、米国では低成長と厳しい競争のなか積極的な販売活動を行いました。売上高は16,571百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。セグメント利益は、積極的な販促活動により販売促進費が増加したこと、3月からのマルチャンテキサス、INC.稼働による固定費が増加したこと等により、2,076百万円（前年同四半期比30.9%減）となりました。

国内即席麺事業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動を受け、特に4月は厳しいスタートとなりました。しかしながら、カップ麺では主力の「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」で新規プロモーション等積極的な販促活動に取組み、また「麺づくり」でのキャンペーンの実施や、サッカーワールドカップ関連商品の発売等を行った結果、5月以降は好調に推移しております。袋麺は、競争の激化など市場環境の変化に対応しきれずに、前年より減少いたしました。また、「マルちゃん正麺」で積極的な販促活動及び新たな需要喚起に取り組んでおります。その結果、売上高は25,042百万円（前年同四半期比11.4%減）、セグメント利益は原材料価格の高騰の影響もあり、1,570百万円（前年同四半期比48.4%減）となりました。

低温食品事業は、生麺では「春限定えび塩焼そば3人前」「夏限定カレー焼そば3人前」といった季節限定品の発売や、主力品である「マルちゃん焼そば3人前」の消費者キャンペーンの実施等販促強化を行い、焼そば類が順調に推移しました。また、昨年秋口に大幅リニューアルした生ラーメン類が引き続き順調に推移し、生麺全体では前年を上回る結果となりました。冷凍食品類では、市販用冷凍食品が好調に推移しました。これらの結果、売上高は17,103百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。セグメント利益は、販売促進費の増加により、870百万円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

加工食品事業は、米飯は既存品を拡販したことにより堅調に推移しました。フリーズドライ製品も、主力品の5食入りパックを中心に堅調に推移しました。魚肉ハムソーセージは、順調に売上を伸ばしました。調味料類、削り節は市場の低迷もあり、売上が減少しました。その結果、売上高は4,076百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期はセグメント損失57百万円）となりました。

冷蔵事業は、輸入品の仕入価格等の上昇を受け、原料系の輸入商品が低調な荷動きとなり、取扱量及び保管在庫量が減少しました。輸入冷凍食品や国内貨物のアイスクリームを中心に積極的な集荷活動を行いました。売上高は3,927百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。セグメント利益は、4月より稼働した東扇島自動倉庫の減価償却費及びその他諸経費の増加により、179百万円（前年同四半期比56.3%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は10,889百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益は154百万円（前年同四半期比69.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は6,747百万円減少し302,039百万円、純資産は440百万円減少し236,495百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に受取手形及び売掛金、有価証券、建設仮勘定が減少しました。負債は、主に未払費用、未払法人税等が減少しました。純資産は、主に為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は73.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成26年5月15日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の変更等をいたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が34百万円、退職給付に係る負債が571百万円増加し、利益剰余金が378百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,082	53,580
受取手形及び売掛金	48,989	45,659
有価証券	34,200	32,200
商品及び製品	17,121	17,255
仕掛品	286	316
原材料及び貯蔵品	5,679	5,849
繰延税金資産	1,822	1,123
その他	3,225	2,908
貸倒引当金	△501	△497
流動資産合計	164,904	158,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	52,516	53,360
機械装置及び運搬具(純額)	26,561	26,921
土地	32,090	32,255
リース資産(純額)	3,983	3,845
建設仮勘定	2,989	656
その他(純額)	1,037	1,208
有形固定資産合計	119,179	118,247
無形固定資産		
その他	2,408	2,530
無形固定資産合計	2,408	2,530
投資その他の資産		
投資有価証券	20,114	20,777
繰延税金資産	1,352	1,274
退職給付に係る資産	82	99
その他	744	714
投資その他の資産合計	22,293	22,865
固定資産合計	143,882	143,643
資産合計	308,787	302,039

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,331	24,341
短期借入金	201	204
1年内返済予定の長期借入金	85	70
リース債務	237	256
未払費用	19,378	15,305
未払法人税等	2,875	896
繰延税金負債	5	0
役員賞与引当金	175	11
その他	3,380	2,215
流動負債合計	50,669	43,302
固定負債		
長期借入金	30	20
リース債務	3,916	4,317
繰延税金負債	3,652	3,696
役員退職慰労引当金	271	251
退職給付に係る負債	12,649	13,321
負ののれん	75	37
資産除去債務	315	316
その他	270	280
固定負債合計	21,181	22,240
負債合計	71,851	65,543
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	189,404	189,759
自己株式	△8,207	△8,210
株主資本合計	222,683	223,035
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,281	3,471
繰延ヘッジ損益	11	△8
為替換算調整勘定	△2,800	△3,821
退職給付に係る調整累計額	390	443
その他の包括利益累計額合計	881	85
少数株主持分	13,371	13,375
純資産合計	236,936	236,495
負債純資産合計	308,787	302,039

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	87,866	86,025
売上原価	54,189	55,863
売上総利益	33,677	30,161
販売費及び一般管理費	25,878	25,389
営業利益	7,799	4,772
営業外収益		
受取利息	69	91
受取配当金	176	196
持分法による投資利益	7	9
賃貸収入	112	93
雑収入	150	144
営業外収益合計	516	536
営業外費用		
支払利息	1	47
賃貸収入原価	25	24
為替差損	6	10
雑損失	29	27
営業外費用合計	62	109
経常利益	8,253	5,199
特別利益		
固定資産売却益	1	17
負ののれん発生益	641	—
補助金収入	1,192	—
その他	25	0
特別利益合計	1,860	17
特別損失		
固定資産除売却損	18	33
投資有価証券評価損	8	—
その他	0	1
特別損失合計	26	34
税金等調整前四半期純利益	10,087	5,181
法人税、住民税及び事業税	2,634	1,169
法人税等調整額	590	631
法人税等合計	3,224	1,800
少数株主損益調整前四半期純利益	6,862	3,380
少数株主利益	133	94
四半期純利益	6,729	3,286



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,862	3,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	426	251
繰延ヘッジ損益	△0	△19
為替換算調整勘定	2,759	△1,020
退職給付に係る調整額	—	53
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△10
その他の包括利益合計	3,202	△745
四半期包括利益	10,065	2,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,934	2,490
少数株主に係る四半期包括利益	130	144

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,149	16,745	28,270	16,180	4,156	3,934	77,437	10,432	87,869	△3	87,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	174	—	0	—	0	231	406	127	534	△534	—
計	8,324	16,745	28,270	16,180	4,156	4,166	77,843	10,560	88,404	△537	87,866
セグメント利益 又は損失(△)	17	3,005	3,042	927	△57	409	7,345	505	7,850	△51	7,799

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△3百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△51百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円、棚卸資産の調整額57百万円及びその他の調整額109百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	8,415	16,571	25,042	17,103	4,076	3,927	75,137	10,889	86,026	△1	86,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	407	—	0	—	0	237	645	123	768	△768	—
計	8,823	16,571	25,042	17,103	4,076	4,164	75,782	11,012	86,795	△769	86,025
セグメント利益 又は損失(△)	△25	2,076	1,570	870	46	179	4,717	154	4,871	△99	4,772

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 外部顧客への売上高の調整額△1百万円は、報告セグメントと四半期連結財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益又は損失の調整額△99百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△249百万円、棚卸資産の調整額52百万円及びその他の調整額98百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。